



発行元：生活クラブいなげビレッジ虹と風運営協議会

問合せ先：NPO法人 V A I C コミュニティケア研究所

〒263-0051 稲毛区園生町1107-7

TEL.043-290-8015

HPアドレス：<http://www.niji-kaze.lolipop.jp/>

2015年9月4日発行
第56号

広
報
紙

虹と風のたより

「自宅で暮らしたい」を支える ホームヘルパー ～ホームヘルパーってどんな仕事？～



超高齢社会に突入し、耳に馴染んできた「ホームヘルパー」という言葉。でも、ホームヘルパーって具体的にどういうお仕事なのでしょう？今回は、生活クラブ風の村のホームヘルパーの仕事の一部をご紹介します！



こんにちは、風の村介護ステーションの●●です！

インターフォン越しにご挨拶！



まずは感染予防のため、手洗い・うがいをします！



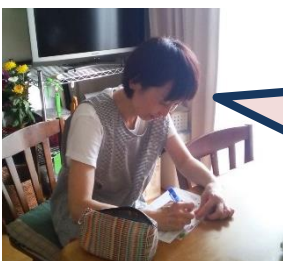
週1回の掃除やケア中に交わす会話から、ご自宅の様子の変化や利用者さんの体調・心の変化等を感じ取ります。「観察」は大切な仕事です！

笑顔でケア内容を確認しつつ、ちょっとした世間話も。コミュニケーションが大切です！



今日は、股関節に痛みのある利用者さんのお家で1時間のお掃除。「足が痛いから助かる」と利用者さん。この時間、利用者さん自身も、できる範囲で一緒に掃除をしていました！

今回同行したケアは「生活援助」でしたが、入浴や食事介助等の「身体介護」のケアもあります！



ケア内容を記録して終了！

ホームヘルパーは、利用者さんの生活を一番近くで見て感じられる、やりがいのあるお仕事です。

あなたも一緒に働いてみませんか？

生活クラブ風の村

介護ステーション稲毛

Tel.043-309-0163



No.23 「小仲台2～4丁目 -終戦直後に起源をもつ街-」



小仲台の住宅街の広々とした道路

小仲台2～4丁目の住宅街は、ゆったりとした道路が東西南北にまっすぐに伸びているのが印象的です。

昭和21年、国の戦後復興住宅政策のもと、千葉県は「陸軍防空学校演習場」跡に、戦災者、引き揚げ者のため、公営住宅308戸を建設しました。家の敷地は一定に区分、道路は将来の車の往来を見据え、防災にも考慮して、南北に8m幅、東西に6m幅につくられました。

その後、宅地は個人に払い下げられましたが、建設当初の区画

整理された敷地と道路は、今でもほぼ原形を残しています。

この住宅街は、戦災著しい中、未来を見通した都市計画の意図をもってつくられたと言えます。きれいに整った小仲台の敷地と広い道路は、戦後70年の歴史をもっています。

(市原徹氏著「千葉市小中台町850番地の歴史」参照)



(VAICコミュニティケア研究所)

043-290-8015



四季の園芸教室

四季を通じて、様々な花や緑を楽しみます。季節の花や植物を組み合わせで自分好みの寄せ植えを作り、持ち帰ります。あわせて季節ごとの手入れの仕方を学びます。

9/10(木)

13:30~15:30

- 地域活動スペース虹
- 先着15名
- 参加費3,000円
- ※花材費込み(植木鉢&苗3~4)

佐賀先生の健康教室

終活で知っておきたい医療の話 ~在宅医療②~

病気と上手に付き合いながら、自分らしく生活し、最期を迎えるには?

終末期に向けての準備活動をテーマに考えていきます。

9/24(木)

13:30~15:30

- 地域活動スペース虹
- 先着20名
- 参加費500円(資料代)

<編集後記>

仕事上、「ヘルパー」という言葉は知っていて、その仕事内容もだいたいわかっていたつもりでしたが、今回初めて現場で取材をして、いかに専門性を要する仕事かを知ることができました。一対一だからその醍醐味とやり甲斐に溢れた仕事でした!(み)

